

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 355

政策体系	22	事業分類	ソフト事業	所管部局	市民部 環境課
会計	一般会計	科目	4. 衛生費 - 2. 清掃費 - 1. 清掃費 現年		
事業名	一般廃棄物清掃事業				
細事業名	一般廃棄物清掃事業				
評価表作成者				市民福祉部 環境課	八木正司

1. 事業の概要

一般廃棄物の適正処理を進めるため、収集日程や分別収集、ごみ減量化等の啓発を行う。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

ごみ、し尿の収集・運搬・処理を円滑に行うための事業。

②事業を実施する必要性

ごみ、し尿を適正に排出するため、また、排出されたごみを効率的に処理するため、必要不可欠な事業である。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	189,972	182,170	1,255	515	1,125	1,410	1,410
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	16	18	9	0	0	0	0
財源内訳								
使用料・手数料等	千円	113,913	104,394	703	0	0	0	0
国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	千円	76,059	77,776	552	515	1,125	1,410	1,410
職員等の従事人員	人/年	—	0.55	0.21	0.21			
人件費	千円	—	3,456	1,551	1,594			
事業費総額	千円	—	185,608	2,797	2,109			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

生ごみ収集庫設置補助	329,000円	(負担金、補助及び交付金)
ごみ収集カレンダー作成	68,355円	(需用費)
犬・猫死骸処理費	71,000円	(役務費)

5. 事業結果の概要

収集庫補助	7基
ごみ収集カレンダー	14,500部

6. 活動の詳細

(1) 生ごみ収集庫設置補助		
生ごみ排出場所周辺の衛生確保と収集の効率化を図るため、地域・集落が設置する生ごみ収集庫に補助金を交付した。	年間	329千円、7個
(2) 生ごみ収集カレンダー		
ごみ収集日程を市民に周知するため、日程表を作成し、全戸に配布するとともに市ホームページにも掲載した。	3月（カレンダー配布） 及び年間（HP掲載）	68千円、13,000枚
(3) 犬・猫死骸処理		
市道等において轢死した犬や猫の死骸を焼却処分した。	年間	71千円、34匹

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

下水道の普及に伴ってし尿汲取りの対象戸数が減少したことから、地域別に曜日を指定することで業務の効率化を図った。また、23年4月からびん類の色分けを一部変更し、埋立処分からリサイクルに処理方法を変更することとし、事前に告知（チラシ配布）を行った。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

前年までは、ごみ袋等販売・不燃物処理・不法投棄処理など多様な目的の業務が混在し、事業評価が難しい状況であったため、事業区分を整理した。

可燃ごみ収集日の祝日振替えに伴い、カレンダーの様式を変更した。あわせてホームページには、従前の様式による日程表も公開し、市民サービスの向上に努めた。

■平成21年度の所属長評価

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点

祝日の可燃ごみ収集、収集袋の規格変更の要望があることから、船井衛管と改善策の検討を行った。

②当該事業のアピール事項

ごみ袋等販売代理店をスーパーやコンビニエンスストアに拡大することで、市民の利便向上に努めた。

③反省点、今後の展開・方向性等

他の事業との関連業務が含まれるため、21年度から事業体系を見直すこととする。